

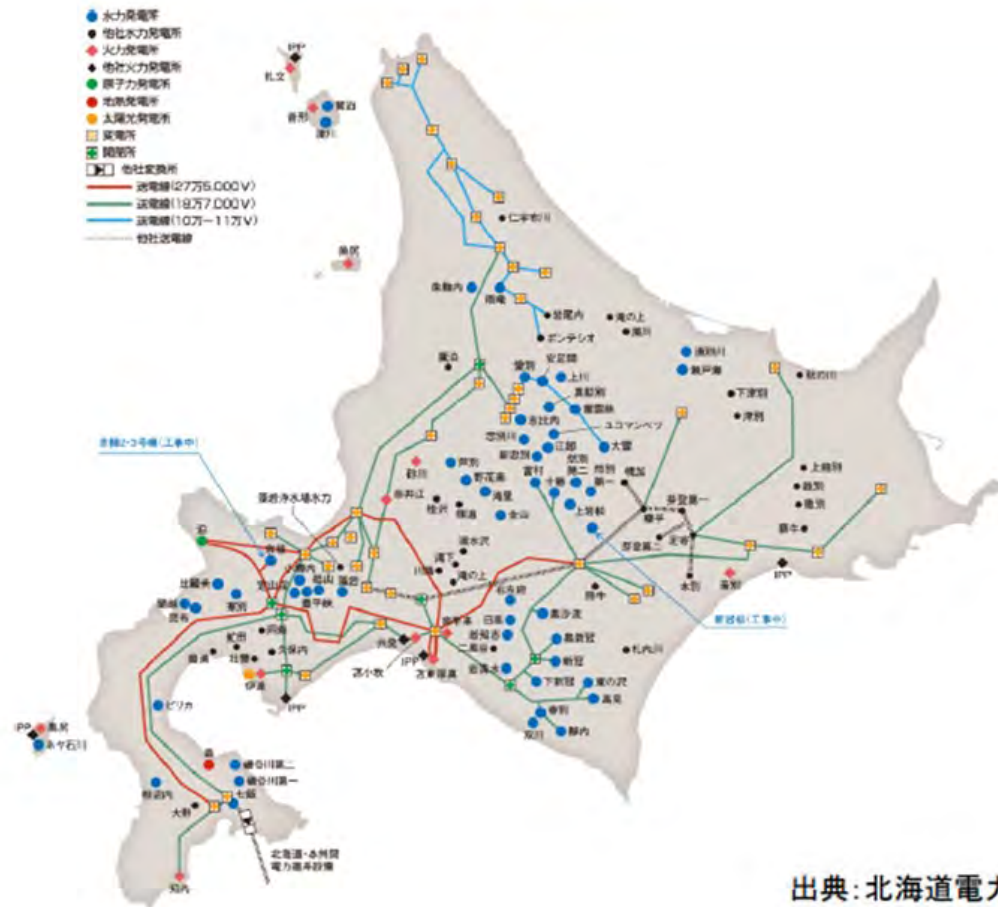
## 参考資料集

(目次)

参考1	供給設備の概要	1 ページ
参考2	託送料金の推移	4 ページ
参考3	電力会社の調達コスト削減の取組	5 ページ
参考4	電線路こう長	20 ページ
参考5	電力会社の託送料金単価	21 ページ

# 供給設備の概要 (北海道電力)

参考資料1



## 供給設備の概要 (東京電力)

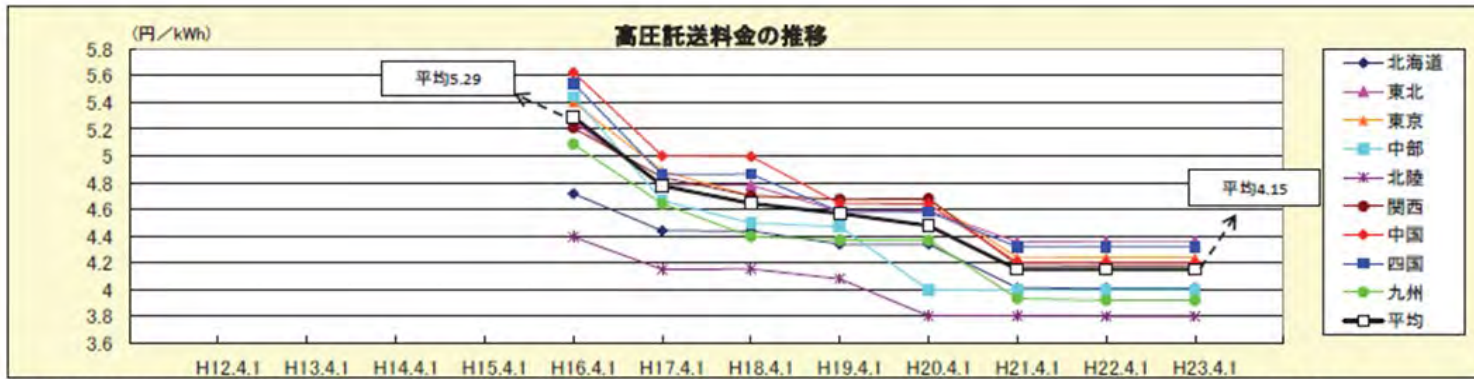
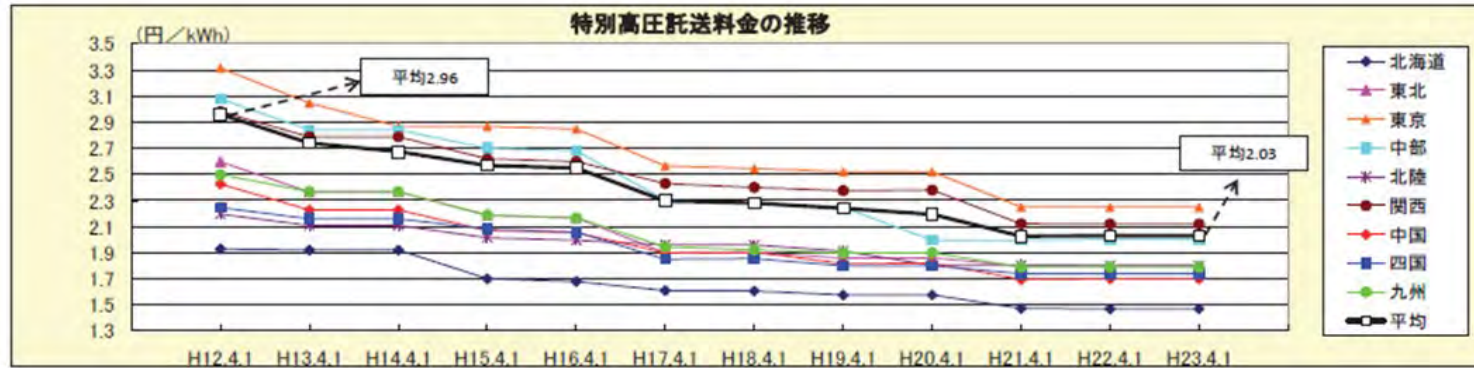


出典:東京電力HPより

# 供給設備の概要 (中国電力)



出典: 中国電力HPより



注) 基本料金と従量料金の和を総託送電力量で除した平均単価。なお、平均の数値は沖縄電力(株)を除く9社の加重平均。なお高圧のうちH16.4.1～H17.4.1は、契約電力が500kW以上の需要家向けのみの料金。

出典: 第4回 電力システム改革専門委員会事務局提出資料(平成24年4月25日)

# 電力会社の調達コスト削減の取組

平成28年6月13日

※2ページの「1.資料作成にあたって」のとおり、公開情報から消費者庁が作成

# 電力会社の調達コスト削減の取組

## 1. 資料作成にあたって

各電力会社が自社ウェブサイトに掲載している直近の経営効率化の取組に関する資料のほか、北海道電力、東北電力、中部電力、関西電力、四国電力及び九州電力についてはそれぞれが東日本大震災以降の電気料金値上げ申請時に提出した資料、北陸電力、中国電力及び沖縄電力についてはそれぞれが託送料金申請時に提出した資料、東京電力については生産性倍増合理化委員会レポート(前編)を基に、各資料から確認できた調達事項について記載。したがって、記載がないことをもって該当する事項がないことを必ずしも意味するものではない。

## 2. 用語解説

リバースオークション方式: 入札期間内であれば何度でも入札可能な価格競り下げ方式のオークションで、最低価格の取引先と契約する方式。

順位配分競争方式: 価格低減と安定調達を両立させるため、競争見積の順位に応じて複数の取引先へ一定のシェアで配分する手法。

シェア配分競争方式: 見積金額順位に応じて発注シェアを配分(傾斜等)することを条件に競争見積を行い発注割合を決定する方式。

ターゲットブライズ方式: 希望する価格低減分を織り込んだ目標価格を提示し、目標価格以下で最も低額な見積額を提出した取引先と契約する方式。

事前価格調査方式: 見積依頼先選定の検討資料として、事前取引先に提供予定価格の調査を依頼する契約方式。

総合評価方式: 入札者が示す価格と技術提案の内容を総合的に評価し、落札者を決定する落札方式。

サプライチェーンマネジメント: 物流システムをある1つの企業の内部に限定することなく、複数の企業間で統合的な物流システムを構築し、経営の成果を高めるためのマネジメント手法。

EPC契約(Engineering Procurement Construction): 基本設計以降の詳細設計、調達、工事を一括して発注することで、発注先のノウハウによる仕様緩和や調達先拡大によるコスト低減、発注者の受注業務や工事管理業務の効率化を図る契約。

# 電力会社の調達コスト削減の取組

## 2. 用語解説(つづき)

取引先提案(VE:Value engineering):設備の機能を低下させずにコストダウンを可能とする、取引先からの提案を積極的に活用する価格低減手法。

公募型提案募集(RFP:Request For Proposal):公募により企画提案を募集して、最も優秀な提案をした者を契約の相手方の候補者として特定する手続。

アライアンス方式:発注者と受注者が相互に協力し、コストダウン目標額を定める価格低減手法。

一括発注方式:納入時期や納入場所が異なる同一規格品または同種品を取りまとめ、一括して契約する方式。

分離発注方式:製造会社に一括で発注している機器・設備等の一部(汎用品等)を分離発注することによる価格低減手法。

コストオン方式:工事で使用する請負会社持ち材料について、発注者が競争により契約先や契約価格を決定し請負会社との契約単価に反映する方式。